



No. 46
2015 Winter

山 松 舎
臨 南 寺

「五十年に一度の勝縁に報恩の香を焚かせていただいたことはこの上ない喜びであり、今後精進していく上での糧とさせていただきます」

(大澤住職の言葉)

總持寺二祖・峨山韶碩禪師六五〇回大遠忌
大澤正道住職 焼香師を拜命

能登の地に總持寺を開かれたのは瑩山禪師ですが、總持寺発展の礎を固められたのはあとを継いだ峨山禪師です。今年には峨山禪師の六五〇回忌にあたります。横浜市鶴見区の大本山總持寺では、十月七日から二十日まで十五日間にわたって大遠忌本法要が奉修されました。五十年に一度の大法要ですが、十月十二日には、臨南寺の大澤住職が最年少で焼香師を拜命され、大本山總持寺の大祖堂において無事お役を勤め上げられました。私たち臨南寺の檀信徒も五十八人による参拝団を結成し、横浜の總持寺に拝登しました。總持寺では坐禅堂や百間廊下など境内をご案内いただいた上、大祖堂の畳の上に座らせていただき、大遠忌の法要に参列することができました。大澤住職の焼香師ぶりも間近で見ることができ、大きな感動をいただきました。



大本山總持寺の大祖堂。この中で峨山禪師の六五〇回大遠忌の法要が奉修されました。



大遠忌の大法要が始まりました

大祖堂に座ると、すぐに峨山禪師六五〇回大遠忌の大法要が始まりました。焼香師を勤める大澤住職が先導役に導かれて入堂されます。緋の衣がひとときわ鮮やかに映りました。

手を洗い、心身を清めて須弥壇の上に登り、香を薫じて道元禪師、瑩山禪師、峨山禪師、歴代祖師方に親しくご挨拶されます。

続いて大澤住職は、須弥壇を降りて祖師方に蜜湯をお供えし、報恩の言葉を述べられました。

私たち臨南寺の参拝団も全員、峨山禪師様にご焼香をさせていただきました。響きわたる読経の音がまるで大天井から降るようで、荘厳な気持ちに包まれました。

大澤住職は堂々と焼香師の役割をお勤めになりました。この話は、江川辰三貫首猥下じきじきの要請で引き受けられました。無事に勤め上げられ、大きな自信になったのではないのでしょうか。



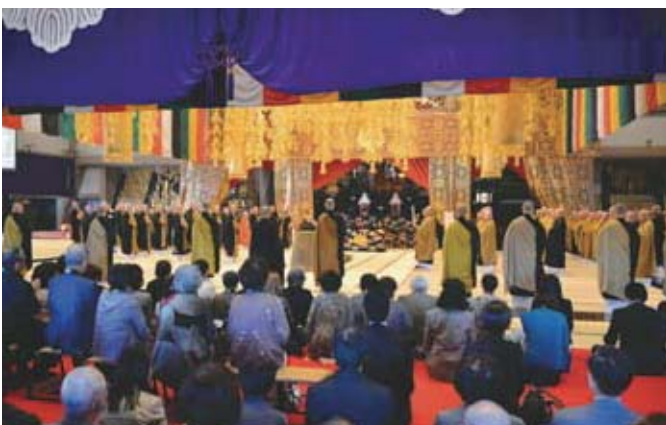
献湯の儀式。祖師方に蜜湯をささげます。



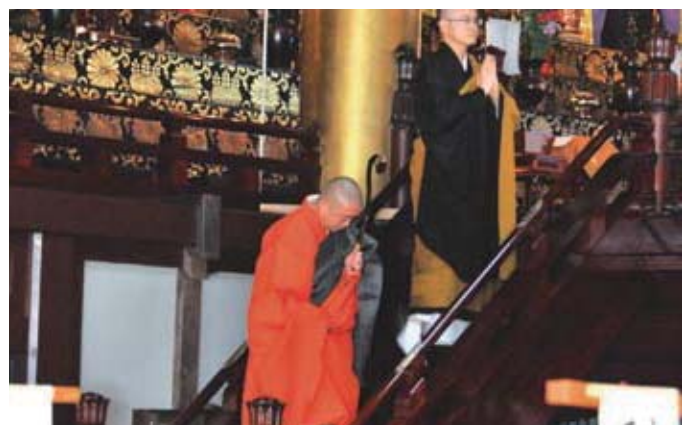
報恩の言葉を述べられました。



清めの儀式。心身を清めて須弥壇に登る準備を行います。



大祖堂での峨山禪師六五〇回大遠忌の法要。手前が臨南寺の参拝団の皆さん。



須弥壇に登り、香を焚いて祖師方にご挨拶いたします。

私たちの先祖供養まで していただきました

峨山禅師六五〇回大遠忌の法要に続いて、
渡邊剛毅先代住職の追善供養とともに、臨南
寺の参拝団の先祖供養を修していただきまし
た。

導師は、總持寺貫首の江川辰三猥下にお勤
めいただきました。まことに有難いことでした。
来年七月には渡邊先代住職の十三回忌を
迎えますが、それに先立つての追善法要になり
ました。その功德をもつて、私たち二行の先祖供
養まで修していただきました。

参拝団全員の名前が読み上げられ、もう一
度須弥壇の前に進み出て焼香させていただきました。
大本山總持寺での焼香と礼拝は格別
のものがありました。
渡邊先代住職への報
恩の思い、先祖への感
謝の気持ちの体
まで沁みるようでした。



感謝の思いを込めて焼香させていただきました。



江川辰三貫首猥下が導師を勤めてくださいました。



江川貫首猥下と大澤住職を囲んで、大祖堂の大階段で臨南寺参拝団の記念撮影を行いました。

翌日(十三日)は鎌倉を観光しました

十二日は好天に恵まりました。大本山總持寺での峨山禪師の六五〇回大遠忌の法要のあと、港町横浜のシンボル山下公園のすぐそばにあるホテルニューグランドで宿泊しました。

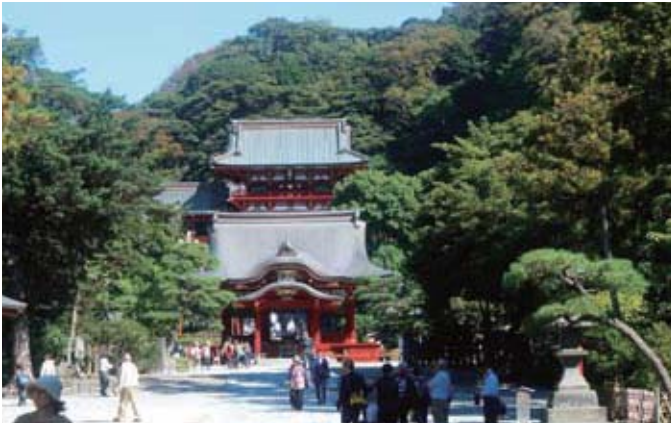
翌日も雲一つない青空。観光バスで鎌倉へ向かいました。

逗子海岸に出たところで、海に浮かぶ江の島とその向こうにそびえる富士山の姿に、全員が歓声を上げました。

鎌倉では、鶴岡八幡宮にお参りし、鎌倉の大仏様の尊顔も拝しました。平日とはいえ観光客が次々と訪れ、特に海外からのお客様が目立ちました。



新幹線の中から見た富士山の美しい姿。二日間とも晴天に恵まれ、往復とも楽しむことができました。



鶴岡八幡宮。源頼朝が鎌倉に入るとすぐに由比が浜から移したと伝えられます。毎年四月には馬上から矢の的を射る「流鏑馬(やぶさめ)」の神事が行われます。



与謝野晶子が「美男におはす」と詠んだ鎌倉の大仏様。もともと大仏殿の中に鎮座されていましたが、大仏殿が大津波で流されたそうで、礎石が周囲に残されています。



ホテルニューグランド。山下公園が目の前という横浜の老舗ホテルに宿泊しました。マッカーサーやチャップリンが泊まった部屋にも泊まれるそうです。

臨南寺行事予定(一〜二月)

○ 弁財天祈祷会(本堂)

* 一月十五日 午前十時〜十二時

新年を迎える年の頭法要です。

新しい年がよい年になりますよう、皆様の厄を払い福を招く法要を修行します。温かい甘酒の振る舞いもご紹介します。ご家族、お友達、誘い合わせてお参りください。



○ 釈尊涅槃会(本堂)

* 二月十五日 午後

お釈迦様が入滅された二月十五日、涅槃に入ってお釈迦様のお姿を描いた涅槃図を祀り、供養と感謝の法要を行い、ご入滅をします。

* 二月二日〜三日は、寺務所は閉めさせていただきます。

線香、ろうそく、花等は、本堂前で販売しております。

* 第二土曜日の早朝坐禅会は、二月はお休みさせていただきます。

* 開門は午前五時、閉門は午後九時となっております。

年の初めに弁財天祈禱会で 厄を払い福を授かりませんか

臨南寺では一月十五日午前十時から本堂において弁財天祈禱会を修行します。

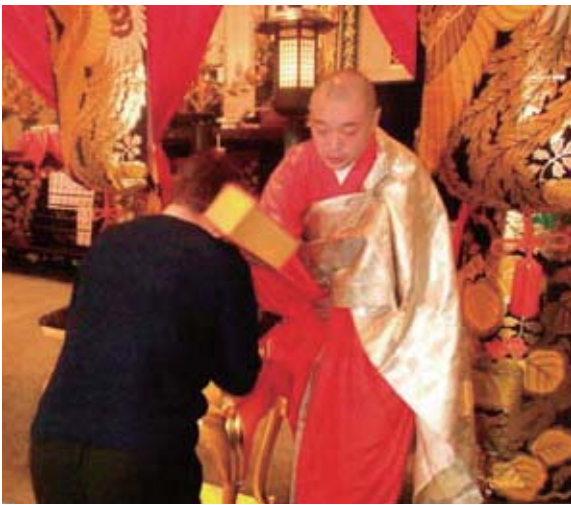
弁財天様は七福神の一人で、商売繁盛、合格祈願、芸事上達などに靈驗あらたかと言われています。臨南寺の弁財天様は、かつて長居池の北之島にあった弁天堂をお移したもので、古くから地域の守護神として信仰されてきました。

弁財天祈禱会では、『大般若波羅蜜多經』六百巻を転読いたします。この經典は、『西遊記』で有名な玄奘三蔵が馬二十数頭に背負わせてインドから中国へ持ち帰ったもので、古来より大きな靈力を持つと信じられております。

ご参拝の皆様とともに、新しい年が安らかで穏やかでありますよう、また世界から争いや災害が少なくなりますよう祈念いたします。そして、皆

様の無病息災・家門隆盛・家内安全を願つて、お札、お守り、破魔矢をお授けいたします。

法要の前には護寺会の会計報告、総代さんのご挨拶がございます。法要の後には温かい甘酒の振る舞いもございます。皆様の厄を払い福を招く弁財天祈禱会に、ぜひご家族、お友達を誘い合わせてお参りください。



皆様お一人おひとりの無病息災・家内安全をご祈念いたします。

彼岸会施食会を 修行しました

九月二十六日午後二時から、彼岸会施食会を本堂で修行いたしました。たくさんの方がお参りになり、ご先祖様をしのび、ご家族の幸せに感謝をささげられていました。



多くの方がご家族でお参りになりました。

秋のマトリ合同法要が 営まれました

がつしょう園マトリの秋の合同法要が、十一月一日マトリで営まれました。お坊様方の読経が続くなか、たくさんの方にご焼香していただきました。今回は、本堂の改修工事のため恒例の法話はありませんでした。



読経の中ご焼香していただきました。

出会いとご縁に感謝して

内田麻友(事務職)

ご縁をいただき、三月より臨南寺で勤めさせて
いただいております。初めてお寺に勤めて、毎朝手
を合わせることに、お経を唱えること、法要のことな
ど、戸惑うことや失敗することもありました。け
れど、日々お寺様や寺務所の方々から一つ一つ教え
ていただき、少しずつ慣れてきたように思います。



また、お寺の法要や行事に携わらせていただくことで、ご先祖様や両
親、身近な方々への感謝の気持ちがあり、以前より増していると感じていま
す。お寺では多くの出会いがあり、出会いの数だけ勉強させていただき、
ご縁に感謝しています。これからも、皆様との出会いを大切に、いつまで
も感謝の気持ちを忘れずに精一杯努めていきたいと思っております。

「家族のようなお寺」を実感

大川康子(経理職)

今年の三月よりお世話になっております。幼い
子供がおり、ご迷惑ばかりお掛けしております
が、方丈様や寺務所の皆様のお支えにより楽し
く勤めさせていただいております。初めてお寺に
参りました際、「家族のようなお寺ですよ」とご
紹介いただきましたが、いつも温かく見守ってい
ただき、日々実感しております。



こちらで勤めさせていただくようになってから、手を合わせご先祖様
のことを考える機会も増えたように思います。今元気に過ごし、お勤め
できていますのも、周りの皆様を始めご先祖様あつてのことと感謝し、
日々精進してまいります。至らぬ点多々あるかと存じますが、精いつ
ばい頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

年末年始のゴミは
ゴミ用コンテナに
入れてください



12月31日～1月4日の間、寺務所の向かいにゴミ用
コンテナを設置します。お墓まわりのゴミはすべてゴミ用コ
ンテナに入れてください。花や紙類だけでなく、缶や瓶も
OKです。墓苑を美しく清潔に保っていただきますようご協
力をお願いします。



墓苑を
ご利用の
皆様へ

- 手桶を花立て代わりに使わないでください。
ご使用後は必ず元の場所へお戻しください。
- お墓参り以外での駐車はご遠慮ください。
境内では最徐行をお願いいたします。
駐車中の事故等は一切責任を負いかねます。
- ペットを墓苑内に連れて行かないでください。
- お供物は、カラスなどに荒らされる原因となりますので、
各自お持ち帰りください。
- トイレにはトイレットペーパー以外は流さないでください。
ティッシュペーパーは水に溶けません。ウエットティッシュ
や紙オムツも絶対流さないでください。

編集後記

中東では紛争が泥沼化し、
終息の気配すら見えません。
空爆が難民を生み、テロを生
み出しています。報復の連
鎖はどこまで続くのでしょうか？
犠牲になるのはいつも子
供やお年寄りたちです。来
年こそ平和な日々が訪れま
すように、そう願わずにはお
れません。(M)

お気軽にご参加ください

早朝坐禅会

毎月第一土曜日

午前六時半～ 本堂にて

*二月・八月は、お休みさせていただきます。

写経会

毎月二十日

午前十時～午後三時

写経料・千円

*いずれも事前のお申し込みが必要です。

「ほ～っと」46号

平成27年12月

編集・発行： 稜伽林「ほ～っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

☎ 0120-667-638

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com